



ID: 1235

科目名	スポーツ文化論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	岡部 祐介			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数	2	
授業形態	講義	授業形式			履修形態	選択	
授業概要							
近代スポーツの抱えるさまざまな現象を、文化としてのスポーツという視点から読み解き、日本人とスポーツの関係、日本人のスポーツ観の変遷などについて理解を深める。							
到達目標							
・各テーマについて、自分自身の明確な問題意識をもつことができるようになる。							
授業計画							
第1回	文化としてのスポーツ						
第2回	現代スポーツのとらえ方						
第3回	ナショナリズムとスポーツ						
第4回	スポーツとメディア						
第5回	スポーツと暴力						
第6回	スポーツする身体とドーピング						
第7回	スポーツとジェンダー						
第8回	スポーツ・ヒロイン						
第9回	スポーツファンの文化						
第10回	スポーツと賭け						
第11回	体育とスポーツ						
第12回	スポーツのグローバリゼーション						
第13回	文化のなかのスポーツ						
第14回	スポーツと開発・環境問題						
第15回	スポーツと福祉社会						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
出席・態度や毎授業時に実施する小レポートによる平常点(50点)および定期試験(50点)による総合評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	10	50	0
授業外学習			テキスト、教材				
なし			適宜、配布。				
参考書			受講生へのメッセージ				
井上俊・亀山佳明編(1999)『スポーツ文化を学ぶ人のために』, 世界思想社			スポーツは、「する」だけのものではありません。普段、行っているスポーツが抱える問題を一緒にじっくり考えてみませんか? 授業中の携帯電話の使用は、必要時以外、禁止。				
キーワード							